

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、1日に一時3.15台近辺まで急速にレアル安が進行したものの、予想を下回る米6月雇用統計を背景にドル買いポジションの巻き戻しが一転して優勢となり、引けにかけて3.09台後半まで下落した。注目された米6月非農業部門雇用者数は前月比22.3万人増と、市場予想対比若干弱い数字を記録(前月分も速報値の28万人増から25.4万人増へ下方修正)。一方、同国失業率は労働市場からの退出者が増加したことが影響し、5.3%と7年ぶりの水準まで低下した。マーケットの失望を誘ったのは賃金の伸びが確認できなかった点であろう。平均時給が前月比横ばいとなった他、前年比でも2%の伸びに留まった。FRBは初回利上げの条件として、①労働市場の継続的な改善、②インフレ率が中期的に2%に戻っていくとの合理的確信が得られること、の2点を挙げているが、今回の結果は9月利上げを正当化するには物足りないという印象。但し、労働市場が着実に改善を示していることは事実であり、マーケットの見通しに大きな変更を迫るような内容とまでは言えないであろう。

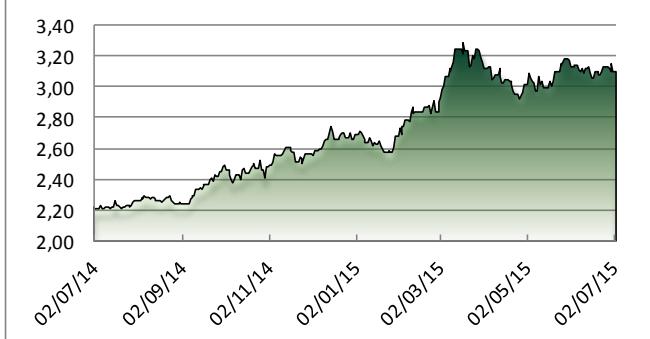
中銀のTombini総裁は1日、インフレ率を2016年末までに政府目標レンジの中央値である4.5%に引き下げるとの姿勢を改めて示した。総裁は、「2015年以降のインフレ期待は大幅に低下しており、これは金融政策が成功していることを示している」と強調。さらなる利上げは景気を一段と低迷させるリスクを内包しているが、中銀は当面引き締めペースを維持すると見られる。

マーケットデータ

Indicator	Unit	7月1日	7月2日	前日比	6月2日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,12	39,73	+0,61	39,63	+0,10
USD / BRL Spot	BRL	3,1492	3,0967	-0,0525	3,1323	-0,0356
USD / JPY Spot	JPY	123,17	123,07	-0,10	124,11	-1,04
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	52.758	53.106	+348	54.236	-1.130
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	259,4	254,6	-4,8	234,5	+20,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,67	12,51	-0,16	12,45	+0,06
DI Future Oct16 (金利先物)	%	14,21	14,04	-0,17	13,71	+0,33
3 Months US Dollar Libor	%	0,284	0,284	+0,000	0,279	+0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	224,1	224,6	+0,5	225,8	-1,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

